

府高退教通信

NO.243

行 543-0021
発 千

大阪市天王寺区東高津町七十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員の会

TEL 090-1227-5142
(末光)

FAX 06-6768-1675

1979年に出版された『ジヤパン・アズ・ナンバールワン』は日本経済の黄金期を象徴的に表す言葉だが、多くの人が今でも先進国と思っているのではないだろうか。前安倍政権下で日本の劣化は激しく、個人の生活水準の指標である国民1人当たりのGDPは1988年には世界第2位だったのが、2019年には25位に下がっている。

日本は先進国なのか？ 寺西文夫(長野)

ユニセフ『子どもの幸福度調査』では精神的幸福度は38カ国中37位、生活満足度32位で、自殺率は平均より高い。『日本財団意識調査』では「国は良くなる」9.6%、「自分で国や社会を変えられる」18.3%で、9カ国中最下位と圧倒的に低く、20〜39歳の日本の若者の死因の1位は自殺で、置かれた状況の悲惨さがわかる。

2021年度 第31回府高退教総会のご案内

大阪はコロナの第4波の真ただち中ですが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？ 府高退教の行事や幹事会が中止に追い込まれ、かろうじて通信発行だけは持続できている状況で、とりあえず第31回総会を下記の日程でおこなうことを3月幹事会で決めました。ただ、感染状況が悪化の一途で延期・中止も考えられます。各会員のみなさまにおかれましては、各自、健康に十分留意され、お過ごしください。

日時：7月25日(日)14時～16時(総会後の親睦交流は中止)
場所：教育会館(たかつガーデン)3F「カトレア」

先号に引き続き、少人数学級実現アピール賛同のはがきよせられた近況報告などを紹介します。

●学術会議会員任命拒否問題が起こり、戦前の滝川事件が思い起こされてる。発端となったのは、滝川氏著の「刑法読本」であるが、その書を以前勤務していた今宮高校の書庫で見つけたことがあった。同校は創立が古いので、古い本が残っていたのだ。読んでみると、刑法の逐条解説書に過ぎないが、ただ末尾に、法だけではだめで、国民生活が安定しなければ所詮、犯罪が減少することはない、と記述があり、それが赤化思想であるとの難癖がつけられたのであった。昔の思想弾圧事件に思いを致し、今、学問の自由の侵害に対し、断固戦わねばなるまい。

●宝塚に転居してもうすぐ2年。視野の欠損が少しずつ進行してきているので、車の運転はあきらめました。買物も医者通いもできるだけ徒歩で、1日に1万歩以上歩くことを目標にウロウロしています。中島延佳(長野北)

●日本民主主義文学会に所属し、小説の創作に明け暮れています。地域の活動もしています。ほんの少しですが、大阪市廃止を阻止するための電話かけやピラマキもしました。国富智子(布施工科)

●城工分会ニュースのCD化を退教通信で読みました。私も桜塚定以後、園芸高退職までの分会ニュースを保管しています。(1966年) C

●町の有志でボランティアの見守りを本年は午後も続けています。子どもたちは建気にマスクを着用して頑張っています。渡辺倬郎(高石)

●退職して22年、82才になりました。前立腺ガン治療で毎日通院しています。世情にはいろいろ、どきどき、わくわく、安心の毎日です。いつも色々な新聞を読むのが楽しみです。藤井忠(河南)

●91才の母の塗り絵展を開催したところ、朝日新聞の投稿欄に掲載していただきました。市の「日本語読み書き教室」に参加、ペルー・中国・ヴェトナムの方などと共に日本語を学んでいます。新しい出逢いに感謝しています。桂典子(長野)

●茨木で憲法を守る運動を続けています。中島良樹(茨木工科)

微用工問題とは何か

松田皓平 (港)

私はこの間、微用工問題と拉致問題について、集中的に追究してみた。

微用工については、金玉根の『日帝下朝鮮財政史論攷』（一潮閣一九九四年刊）が参考になった。

この始まりは一九三八年、日本政府は、戦争準備のため、国家総動員法を公布・施行します。そこで植民地朝鮮に目をつけ、九州や北海道の炭鉱や他府県の鉱山・土建・工場などに七三万人の労働者を拉致します。

もっとも典型的なのは、長野県松代に大本営を移すとして、六五〇〇人の朝鮮労働者を投入し、一日十メートルの洞窟を掘り、多数の死者を出します。

最近入手した『日帝強占朝鮮人強制労働年表』を詳細に追究してみると、九州の炭鉱のガス爆発十三回、北海道で十九回の落盤事故などで、多数の死者を出しています。

そこで思うのですが、安倍も昔も、とってつけたように「拉致問題は最優先課題」といいます。以上よろしくお願います。

な首相は見たことがありません。

日本が植民地支配の責任を放棄して、被害国である弱国を制裁する暴挙を直ちにやめ、微用工問題や植民地支配の責任に正面から向かい合い、強国との話し合いにより、一日も早い解決を目ざすよう強く求めます。

新会員紹介

石崎真理子 (鳳)

「退教通信」を見るたび、諸先輩方が退職後も教育の現状に目を配り、かついろいろの趣味をお持ちで人生を謳歌しておられることに敬意を抱いていました。趣味は現役時代から？ 新たにチャレンジ？ いずれにしてもいつまでもお元氣な様子には感服です。

今コロナ禍のもと、教育現場の課題は一層深刻になっていくと聞きます。退職後の自分の時間が、社会も自分自身もともに豊かにできるそんな一コマであればいいなと思っています。

以上よろしくお願います。

75歳以上の医療費 2倍化計画



山岸

山岸 稔 (桜塚定)

斉藤満佐子

(枚方津田)

少人数学級実現の共同アピール賛同者の思い

(前回からの続き)

枚方津田高校で学校司書をしていました。司書部で懇意にしていたHさんのすすめで府高退教に加入しました。仕事をやめてから(再任用は2年間)もう10年たちましたが、この間、スポーツ事務の筋トレ通い、ボランティア、趣味の「うた」と毎日忙しくすごしていました。そして今も元気で継続中です。

■未だに40人学級が標準であるのには驚きです。コロナ禍に関係なく、少人数での指導を行う必要があると思います。少人数指導になると教員の負担が少しは減ると思います。(今工全・林俊恵文)

やっと30人学級に国が本腰になったのですね。遅きに失した感があります。退教員になつて楽しいことをたくさんやっていきたいです(特にシャソソンには興味があります)、先のみえない世の中ではありますが、気長にやっつけていきたいと思っています。これからもよろしくお願います。

■高校をつぶすのではなく、ゆとりのある教育をすべきです。(旭・原田和嘉子)

「40人学級」が子どもたちにとつていかに非人道的、非教育的な環境であるかということを実感できないとは、誠に情けない限りである。直ちに「少人数学級」の実現を。(茨田・笹岡優光)

「短歌を楽しむ会」再開のお知らせ



2019年夏以来、世話人の入院や新型コロナウイルスの影響でお休みしていました「短歌を楽しむ会」を2021年6月から再開いたします。何とぞ奮って歌稿をお送り下さり、会にもご出席下さいますようお願いいたします。

6月14日(月)午後2時から教育会館ななめ向かいのガットネロで行います。歌稿は6月7日(月)までに左記宛、ハガキ・FAX・メールなどでお送り下さい。

〒538-0024

藤井寺市藤井寺2-6-17

山尾邦子

tel・fax 072-954-8524
mail kunchan925@outlook.jp
携帯 090 9167 3031

当面の日程



21日(金) 14:00
府高退教幹事会
教育会館「すずらん」

求すれば、対話、ことばのやりとりに行きつくのではないのでしょうか？いつの時代、どんな状況であつても、それが学校であれ、社会の場面であれ、対話、人と人とがことばで通じあえる集団こそが教育と人が成長できる場だと思えます。少人数学級実現の日が一日も早く来ることを願います。(春日丘・真中宏)

以下、次号

旧池田北高校を支援学校に!

豊能地域では豊中支援学校が知的障害のある生徒が通う唯一の学校ですが、2500人規模の学校に4000人の生徒が通う超過密校になっていきます。この状況を改善するために、池田北高校跡地を支援学校にしようと「豊能地域の支援教育を考える会」では、大障教や西淀川、枚方の経験を開く学習会を持ち、9月までに1万筆の目標で署名運動を始めています。高退教会員の皆さんのご協力をよろしくお願いします。集まった署名は郵送していただければ幸いです。

宛先 荒西 克招
〒664-0006
伊丹市鴻池6-6-18

今回の「春の散策」は、コロナの情勢により中止します。また、来月の府高退教通信の5月号も同様の理由で休刊となります。